

技能五輪全国大会 ～次代を担う若者の挑戦～

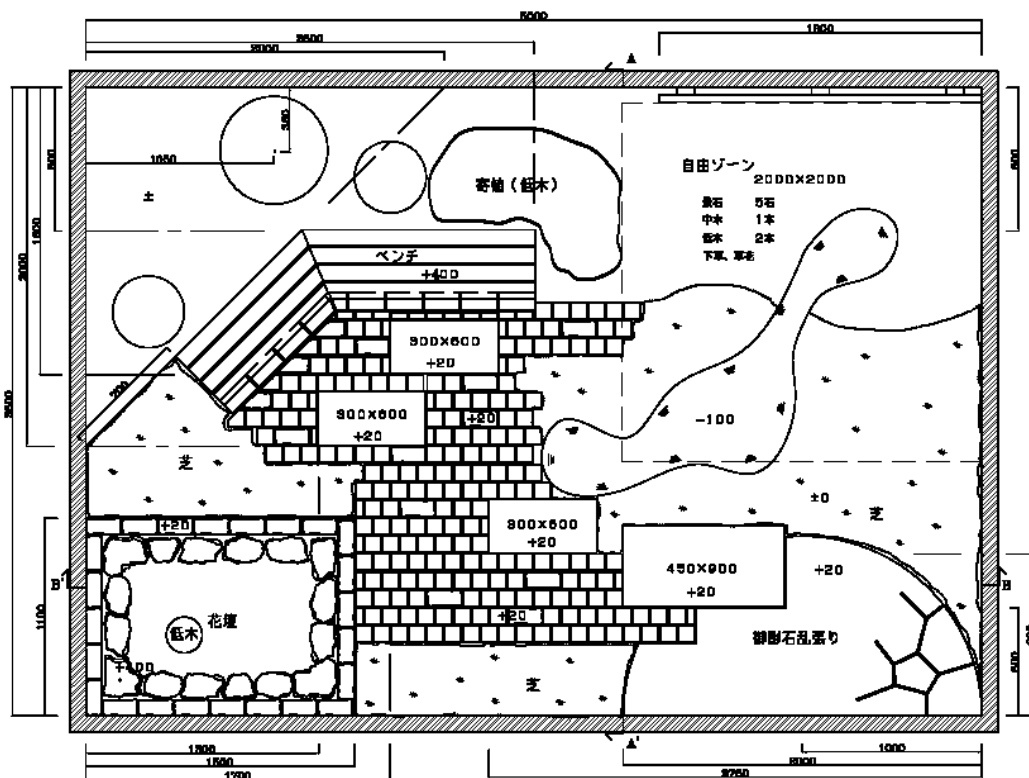
熊本県立北稜高等学校

技能五輪とは

全国大会（主催：厚生労働省、中央職業能力開発協会、愛知県）は、若者（原則23歳以下）が技能レベルの日本一を競う大会です。今年は11月29日（土）、30日（日）の2日間で41職種競技が行われました。熊本県代表として、本校から「造園職種」部門に1組2名が参加しました。

「造園職種」は、1日目7時間、2日目4時間30分の合計11時間30分を使って課題を作成しなければなりません。次の図が今年の課題でした。

競技課題（平面図）



今年の競技課題は、花壇石積み、石張り、ベンチ、敷石・小舗石敷き、スクリーン、流れ、景石及び植栽の自由配置、植栽、花壇植栽、芝の植付け、地均し・整地でした。特に苦労した点は、石積みと石張りです。石積みは、石の大きさや形が多様で割って形を整える必要がありかなりの時間を要しました。また、石張りは、長方形の御影石を必要な形に割って形成する必要がありました。



ベンチ据え



木工・小舗石敷き



植栽（樹木・草花）



芝張り



熊本県から「造園職種」に高校生が出場したのは、今回が初めてのことで、競技大会の雰囲気や競技レベル等、分からない部分も多くありました。また、天候の変化に対応する難しさを体験しました。結果は、学生部門で優秀賞を受賞することができました。しかし、この結果に満足せず、納得のできる作品を作り上げるため、再度チャレンジしたいと決意を新たにしました。